

東北母乳の会

東北母乳の会は東北の各県で母乳の会が出来てきたことを受けて、「奥羽列藩同盟」を作ろう、という呼びかけがどこからかなされ、2006年に第1回の集まりが仙台で持たれました。東北公済病院の会議室で皆さんすし詰めになり、暑さムンムンの中で東北母乳の会は産声をあげました。その後各県の母乳の会が持ち回りで主催することになりましたが、第2回からは東北各地からの折角の集りだということで、会の終了後は地元の温泉で懇親を深めるのが習わしとなったのです。以下その流れを簡単に紹介します。

東北母乳の会

第1回 2006.6.17 仙台市 東北公済病院 5階会議室

東北6県からの母乳育児支援活動の現状報告

懇親会…無し

第2回 2007.5.19 盛岡市 いわて県民情報交流センター

特別講演 堺 武男（宮城県立こども病院）「おっぱい子育て〜母と子の永遠のめぐみ〜」

シンポジウム「子育てはこころ育て」

懇親会…雫石温泉 長栄館―小岩井牧場

第3回 2008.5.17 青森市 浅虫温泉 海扇閣

特別講演 網塚貴介（青森県立中央病院総合周産期母子医療センター新生児集中治療管理部部長）

「軽症低出生体重児・早産児へ母子分離軽減・母乳育児支援を行うことによる早期退院の試み
ー低血糖管理のためのABM・WHOガイドラインをふまえてー」

シンポジウム「退院してからのみんなの母乳育児」

基調講演 野村由美子（国立病院機構弘前病院小児科部長）

懇親会…浅虫温泉 海扇閣

第4回 2009.5.30 山形市 霞城セントラル 山形市保健センター大会議室

基調講演 氏家 二郎（国立病院機構福島病院 小児科）「福島県の母乳意識調査から」

シンポジウム「母乳育児の自然なスタート」

懇親会…天童温泉 あずま荘

2010年は仙台市で第19回日本母乳育児シンポジウムが行われたため東北母乳の会は開催せず。

2011年は福島で開催予定であったが東日本大震災の影響で中止

第5回 2012.5.19 福島市 コラッセ福島

特別講演 菅 玲子（母乳育児サークルこおりやまおんぶの会）

「郡山市母乳育児サークルの活動 震災前と後」

シンポジウム「震災をどう対応し、どう乗り越えたか」

懇親会・福島市高湯温泉 花月ハイランドホテル

第6回 2013.5.25 仙台市 トラストシティ・カンファレンス仙台

特別講演1 山崎智子（日本ダウン症協会宮城仙台支部「どんぐりの会」会長）

「ダウン症の子ども達をもっと知ってもらうためにー出生前診断を考えるー」

特別講演2 村田祐二（仙台市立病院救命救急センター長）

「当院のマタニティクラスでの関わりー良い加減な育児と虐待防止からみた母乳育児支援ー」

懇親会・松島 花ごころの湯 新富亭ー松島遊覧と塩釜の寿司

第7回 2014.5.31 盛岡市 岩手県公会堂大ホール

特別講演1 橋本武夫（若楠児童発達支援センター長）

「バースカンガルーケアから Loving HUG（タッチングケア）へ」

特別講演2 水野克己（昭和大学江東豊洲病院小児科教授）

「母乳育児の正しい知識」

トークセッション「ぽにゅうをかだる」

懇親会・つなぎ温泉 愛真館

第8回 2015.5.16(土) 弘前市 ヒロロ4階 弘前市民文化交流館ホール

特別講演1 青葉達夫(青葉こどもと親の歯科医院院長)

特別講演2 網塚貴介(青森県立中央病院総合周産期母子医療センター新生児科部長)
「母乳育児中の口腔の問題」むし歯や舌小帯」みやぎ母乳育児をすすめる会副理事長

シンポジウム「ちょっとだけ早く生まれた赤ちゃんへの母乳育児支援」

懇親会・岩木山麓嶽温泉 アソベの森いわき荘

第9回 2016.5.21(土) 秋田市 秋田拠点センターALVE 2階多目的ホール

特別講演1 菅原光子(イスキア助産院)

「母乳育児支援することとは」

特別講演2 堺 武男(さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック院長)

「母乳育児はこころの育児」

トークセッション「離乳・卒乳、悩んでいませんか？」

懇親会・秋田温泉 さとみ

第10回 2017.5.13(土) 山形市 山形市立病院済生館 大会議室

特別講演 堺 武男(さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック院長)

「東北母乳の会12年間、10回の講演会を振り返る」後世に託すものは何か」

シンポジウム「東北各県頑張ってるよ!」地域に広げよう母乳育児」

懇親会・蔵王温泉 つるや

あおもり母乳の会

設立

2007年4月

会員と活動内容

メンバーは産科医・小児科医・助産師・看護教員・薬剤師・子育て中のパパで構成されています。県内に母乳育児を広め、推進するため活動しています。

会則の前文…「すべての親子の幸せを願い、一人でも多く母乳育児が出来るように支援し、支援する仲間（医療者、教育者、保育者、県民）と親子が交流を深める会です。」

主な活動

・総会 講演会

年1回開催しています。講演会には医療関係者だけでなく、看護学生・妊婦さん・子育て中のパパママも参加されています。

・学習会

年2～3回 医療者対象や一般のパパママ向けのテーマで開催しています。医療者向けの学習会では「ポジショニングとラッチオン」「授乳と薬」「早産児だからこそ母乳育児」「10ヶ条」「コミュニケーションスキル」などをテーマとし、各施設での母乳育児推進に関する問題を語り合ったり、スキルアップのためのグループワークをしたり、わいわい楽しく集っています。事

事務局メンバーによる「津軽弁の寸劇」や紙芝居、ベビービクス・産後ママ向けのエクササイズも行っていきます。

・役員会

総会・講演会、学習会の企画・運営のため、月1回開催しています。

・県内各地での出前講座やイベントの協力

・分娩取り扱い施設内、具体的な産科医院内での学習会（出前講座・実技も）協力

・東北母乳の会・日本母乳の会への協力

「あおもり母乳の会」ホームページ

<http://aomori-bonyuujp/> 開設しています。

当会の紹介・イベントのご案内・なんでも相談・母乳育児に関するサポートが受けられる施設の紹介など掲載しています。「なんでも相談」は一般の方々からメールでのご相談を受け付けています。寄せられたご相談に事務局員がお答えしています。事務局メンバーの紹介コーナーもあります。どうぞ！ますます「あおもり母乳の会」にアクセスしてみてください。

連絡先

国立病院機構弘前病院（弘前市）

あきた母乳育児をささえる会

設立

2015年4月

会の活動

会が発足したばかりですが、学習会を通じて母乳育児の推進に努めます。

第1回学習会 報告 2015年9月13日(日)

「母乳育児支援補助券 利用の実際」をテーマに意見交換会を行いました。(写真右)
補助券が母乳外来や助産師外来受診のきっかけになる、補助券の必要性について医療施設・職種と行政では認識が違うのではないか、ママたちにはどこで補助券が使えるのか情報が少ない、等々たくさん議論が交わされました。

この補助券の制度は、ママ達はじめ母乳育児支援に携わる私たちにとっても役立つもの。全県で開始・継続されるといいですね。

事務局と連絡先

秋田赤十字病院 産科病棟 新野隆子 takako_nino@akita-med.jrc.or.jp

入会の方法

昨年の学習会から参加してくれた医師、助産師をはじめ、会の運営に賛同してくれた一般の方も入会してくれました。中にはなんと、秋田県外在住の方まで！

いわて母乳の会

いわて母乳の会

基本的な考え…自然がいつぱいの岩手で自然に母乳育児ができるよう、そして、母と子がすこやかに幸せであることを願い、WHO/UNICEFの「母乳育児を成功させるための10ヶ条」に賛同し、「母乳育児の大切さ」をより多くの方々にご理解いただくための会です。

設立

2002年2月

いわて母乳の会の活動

- ♥ 講演会（年1回） 「わくわくおっぱいの集い」母乳に関するあれこれ学ぶ会です。
- ♥ 勉強会（年1回） 「子育て応援勉強会」ママたちが気になっているテーマを取り上げて講演会を行っています。
- ♥ 医療者同士の情報交換「夕やけ勉強会」ママと赤ちゃんに携わる医療者・子育て支援者で情報・意見交換を行う会です。母乳だけではなく、妊娠・出産・育児に関する様々な情報交換を行っています。
- ♥ ホームページによる活動内容の報告「いわて母乳の会」<http://iwateponyu.wordpress.com/>東北各県の母乳の会のホームページのリンクも貼っています。
- ♥ フェイスブックによる活動内容の報告「いわて母乳の会」…講演会や勉強会のご案内や活動報

♥ 告、様々な団体と情報共有しています。
♥ 日本母乳の会への協力

お問い合わせ先

♥ いわて母乳の会 事務局 iwate.bonyunokai@gmail.com

山形県母乳育児を応援する会

設立

2003年12月

2003年に福島県の飯坂温泉で行われた、母乳育児ワークショップ参加者が、「山形に母乳の会をつくるぞ」と盛り上がった事から実現しました。世話人会で会の名称を「山形県母乳育児を応援する会」にし、春に「母乳育児なんでもQ&A」を行うこと、11月に総会と「山形県母乳フォーラム」を行うことにして、2003年12月6日第1回の総会・母乳育児フォーラムを行いました。

当時の山形県の母乳率は30%ちよつとで、山形県は母乳育児後進県と言えます。そんな中で、平成17年に山形市立病院済生館が「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」に県内で初めて認定され、山形県の母乳育児にとって大きな一歩となりました。

会の活動

年1回の 母乳育児なんでもQ&Aやフォーラム

初めの頃、母乳育児がしたくてもうまくいかないお母さんの悩みがいっぱい出てきました。母乳育児の必要性を話し、母乳育児をしているお母さんの支援をしてきました。会の活動の結果、山形市内の保育所ではほとんどの所が、冷凍母乳を受け入れるようになりました。また、乳児健診で母乳をやめるように言われる事も減ってきました。

母乳育児相談

県立中央病院と、済生館のスタッフが毎月第3土曜日に交代で、山形市の子育て支援センター、「あーべ」で母乳育児相談を行っています。年2回スペシャル母乳育児相談を行っています。

その他にも、会のメンバーが色々な母乳育児支援事業に携わっています。

この度、会長が二代目になりました。山形全県の母乳育児支援を盛りたて、母乳で育てられるお母さんが増えるように活動したいと思います。今後ともご協力お願いいたします。

連絡先、相談先

山形県母乳育児を応援する会事務局

山形県立中央病院 N I C U 0 2 3 1 6 8 5 1 2 6 5 0

山形市立病院済生館 5西病棟 0 2 3 1 6 3 4 1 7 1 2 3

ふくしま母乳の会

設立

2007年3月

活動内容

総会および講演会を開催（年1回）

ニュースレター発行（年2回）

福島県下の母親に対する母乳育児に関するアンケート調査（5年に1回）

お母さま方の「なやみごと相談」をお受けしております。

ふくしま母乳の会のホームページからの受付

どなたからでも、ご相談いただけます。

「ふくしま母乳の会」<http://www.fukushima-bonyu.org/>にアクセスする。

← 左側の項目「母乳育児なんでも相談室」をクリックする。

← Eメール、あるいはファックスにてご相談ください。

電話での受付

原則として、福島病院で出産したお母さま方の相談を受けております。

福島病院以外で出産されたお母さま方に関しては、レすくすく外来^レやサークル（おひさまサークル、ベビーマツサージ）に参加された方やそのお知り合いの方からの相談を受けております。

電話番号…0248-75-2131（福島病院代表）

受付時間…平日9時～17時 ※緊急を要する場合はその限りではありません。

連絡先

事務局…国立病院機構福島病院 周産期母子医療センター産科部門 事務局代表 菅原由香里

電話…0248-75-2131（代表）

ファックス…0248-75-2382

E-mail : syuusanki@fukushima-hosp.com

お知らせ

震災以後、会の活動が滞り気味になっており、皆さまにご迷惑をおかけしております。

現在、役員会を中心に会の活発化に向けての活動を行っており、またホームページも更新中です。今後も皆さまと一緒に、母乳育児の輪を広げていきたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

NPO法人みやぎ母乳育児をすすめる会

設立

1993年11月 前身団体 宮城県母乳育児をすすめる会
2007年2月 NPO法人みやぎ母乳育児をすすめる会

会員構成

医師、助産師、看護師、薬剤師などの医療従事者。一般のお父さん、お母さんなど

基本理念

母乳育児は様々な方面から見ても、また近年の科学の進歩をもってしても、現代科学が到達できないほど優れたものであることが証明されてきています。

さらに重要なことは、母乳の成分がもたらす利益のみならず、母乳育児を行う過程が、母と子の関係や家族の皆さんの関係に精神的な安定をもたらし、現代社会で大きな問題になっている虐待、いじめ、青少年の犯罪の防止についても何らかの良い意味での効果をもたらすことが期待されています。

みやぎ母乳育児をすすめる会は、宮城県における母乳育児の推進を図り、母子関係と家族関係が樹立され、こどもたちが心身ともに健やかに育つことと、それを実現できる社会ができることを目的として活動を行う会です。

活動内容

- ◎母乳フォーラム in みやぎ…会の最大行事で講演会と意見交換・相談等を行います。
- ◎定例会・サテライトフォーラム…年2〜3回県内各地で勉強会を開催しています。
- ◎母乳なんでも相談…仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく仙台」と「のびすく泉中央」で母乳に関する相談に医師、助産師が応じています。
- ◎ワークショップ…テーマ毎に少人数のグループワークで解決策を探ります。
- ◎ニュースの発行…年3回最新の話題等の情報をお知らせします。

連絡先、その他

事務局…宮城県仙台市青葉区国分町2-13-11 東北公済病院7階 母子センター
HP <http://www.miyagi-bonyu.com/>
E-mail m.bonyu@gmail.com

執筆者の紹介

あおもり母乳の会

網塚 貴介 (小児科医)
齋藤 美貴 (産婦人科医)

青森県立中央病院
津軽保健生活協同組合健生病院

いわて母乳の会

黒川 賀重 (産婦人科医)

黒川産婦人科医院

山形県母乳育児を応援する会

佐藤 文彦 (産婦人科医)

山形市立病院済生館

みやぎ母乳育児をすすめる会

青葉 達夫 (歯科医)
上原 茂樹 (産婦人科医)
熊谷 賀代 (助産師)
堺 武男 (小児科医)
佐藤 梅子 (助産師)
佐藤 祥子 (助産師)
瀧澤 ひかる (助産師)
中村 理恵 (小児科医)

青葉こどもと親の歯科医院
東北公済病院
東北公済病院
さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック
東北公済病院
大崎市市民病院
東北公済病院
東北公済病院
イラスト担当

ふくしま母乳の会

氏 家 二 郎

(小児科医)

国立病院機構福島病院

山 本 優 子
湊 敬 子(薬剤師)
(助産師)東北公済病院
仙台市立病院

本書の刊行にあたり、協力をいただいた「東北母乳の会」の皆様、深く感謝申し上げます。

初乳から卒乳まで

～みんなが安心して母乳育児をすすめるために～

- 発行日 2016年6月24日 第1版1刷
2017年4月1日 2刷
- 発行人 特定非営利活動法人 みやぎ母乳育児をすすめる会
- 発行所 特定非営利活動法人 みやぎ母乳育児をすすめる会
〒982-0803 仙台市青葉区国分町2-3-11
東北公済病院母子センター
<http://www.miyagi-bonyu.com/>
本注文専用メール：m.bonyu.book@gmail.com
お問合せメール：m.bonyu@gmail.com
- 印刷・製本 株式会社 宮城文化協会

本書の購入を希望される方は、お名前、ご住所、必要部数をメールアドレスまでご連絡下さい。発送費用はご負担いただきます。

本書の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは法律で禁じられています。

Copyright © 2016 miyagi bonyu ikuji susumeru kai
ISBN978-4-9909084-0-9